

環境活動レポート 2018



®環境省

エコアクション21

認証番号 0008985

(平成 29 年度版)

平成 29 年 4 月～30 年 3 月

 **柏崎信用金庫**

発行日：平成 30 年 8 月 31 日

<組織の概要>

1. 事業者名及び代表者名

柏崎信用金庫 理事長 小出 昭夫

2. 所在地

本店・本部 : 〒945-0051 新潟県柏崎市東本町 1 丁目 2 番 16 号

【支店】

諏訪町支店 : 〒945-0063 新潟県柏崎市諏訪町 11 番 32 号

四谷支店 : 〒945-0046 新潟県柏崎市四谷 2 丁目 4 番 43 号

出雲崎支店 : 〒949-4353 新潟県三島郡出雲崎町大字川西 80 番地

南支店 : 〒945-0822 新潟県柏崎市穂波町 8 番 11 号

半田支店 : 〒945-0812 新潟県柏崎市半田 2 丁目 6 番 17 号

東支店 : 〒945-1351 新潟県柏崎市大字上田尻 1307 番地 1

3. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 総務部 部長 : 小林 伸光

担当者 総務部 部長代理 : 西川 弘

連絡先 0257-24-3321 (総務部)

4. 事業活動の内容

信用金庫法に基づく金融業

5. 事業の規模(平成 30 年 3 月末現在)

預金量 : 900 億円

貸出量 : 431 億円

従業員数 : 106 人

延べ床面積 : 4,480m²

<対象範囲 (認証・登録範囲) >

1. 対象組織

本店・本部及び全営業店 (全事業所対象)

2. 対象活動

全活動

<主な環境負荷の実績>

項目	単位	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
電力使用量	KWh	292,559	277,968	265,631
ガス使用量	m ³	28,891	33,968	32,200
廃棄物排出量	t	15.3	14.0	15.3
上水使用量	m ³	1,394	905	926

柏崎信用金庫 環境方針

<環境理念>

柏崎信用金庫は「地域との共生」を経営理念とし、地元金融機関として、金融の円滑化と利便性の向上に努め、中小企業の健全な発展と地域住民の生活向上に貢献することを基本方針としております。

柏崎の豊かな自然環境を守りながら、地域経済が継続的に発展するよう、役職員が一丸となって、地域環境・地球環境の保全に積極的に取り組みます。

<環境保全への行動指針>

1. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。
 - (1) 二酸化炭素排出量の削減
電力の消費や業務車両の燃料消費などに伴う二酸化炭素排出量の削減に努めます。
 - (2) 廃棄物排出量の削減
廃棄物排出量の削減とリサイクル率の向上に努めます。
 - (3) 総排水量の削減
節水に努めます。
 - (4) グリーン購入の推進
事務用品のグリーン購入（出来る限り環境への負担が少ないものを優先的に購入すること）に努めます。
 - (5) エコ関連商品の開発、販売
環境に配慮した商品の開発、販売に努めます。
2. 環境関連法規等の遵守
環境に関連する法令・条例や当金庫が約束したことを遵守します。
3. 地域社会の環境保全への貢献活動
金融商品、サービス等の提供を通じて、環境保全に取り組むお客様のお手伝いをし、CSR（企業の社会的責任）として地域社会の環境改善に貢献します。
4. 役職員の環境問題に対する意識向上
全役職員に環境方針を周知し、金庫内部で環境保全に取り組み、環境に対する意識の向上を図ります。

制定日：平成23年4月1日

改定日：平成27年6月25日

柏崎信用金庫

理事長 小出 昭夫



＜環境目標＞

柏崎信用金庫

環境目標項目		単位	基準年度	環境目標値(基準年度比)			
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
二酸化炭素排出削減 (省エネルギー) 単位(kg-CO ₂)	目標値	kg-CO ₂	—	1%削減	2%削減	3%削減	3%削減
	実績値		264,195	261,553	258,911	256,269	256,269
電気量	目標値	kwh	—	1%削減	2%削減	3%削減	3%削減
	実績値		292,559	289,633	286,708	283,782	283,782
ガス使用量	目標値	m ³	—	1%削減	2%削減	3%削減	3%削減
	実績値		28,891	28,602	28,313	28,024	28,024
ガソリン使用量	目標値	L	—	1%削減	2%削減	3%削減	3%削減
	実績値		17,495	17,320	17,145	16,970	16,970
廃棄物排出量の削減	目標値	kg	—	1%削減	2%削減	3%削減	3%削減
	実績値		15,386	15,232	15,078	14,924	14,924
上水使用量の削減	目標値	m ³	—	1%削減	2%削減	3%削減	3%削減
	実績値		1,394	1,380	1,366	1,352	1,352
グリーン購入の推進	目標値		事務用品の グリーン購入 品目数11	事務用品の グリーン購 入品目数12	事務用品の グリーン購 入品目数13	事務用品の グリーン購 入品目数14	事務用品の グリーン購 入品目数15
エコ関連商品の開発・販売	目標値		エコ関連商品 商品数2	エコ関連商品 商品数2	エコ関連商品 商品数2	エコ関連商品 商品数3	エコ関連商品 商品数3

(注) ①購入電力の二酸化炭素排出計数は、2015年度の東北電力株式会社の実排出計数の0.556kg-CO₂/KWhを使用しました。
②化学物質は取扱いがないため、目標項目には記載しておりません。

<環境目標の実績>

	環境目標	平成29年度環境目標の実績			結果の評価・考察	
		(基準年度は27年度)	単位と 基準年比	達成 状況		
1	二酸化炭素排出量の削減	基準年度 目標 実績	264,195 258,911 250,753	kg-CO ₂ ▲2% ▲5%	○	電気使用量及びガソリン使用量の削減により、数値目標を達成しました。
2	電気使用量の削減	基準年度 目標 実績	292,559 286,708 265,631	kWh ▲2% ▲9%	○	省エネ対応事務機器への順次入替による効果及び電気量削減への意識が定着したことにより、数値目標を達成しました。
3	ガス使用量の削減	基準年度 目標 実績	28,891 28,313 32,200	m ³ ▲2% +11%	×	ガス使用量の増加は、気温の高低によるエアコン使用量の増加が主要因であり、改めて室温管理の徹底を図るほか、基準年度の見直し等も検討します。
4	ガソリン使用量の削減	基準年度 目標 実績	17,495 17,145 15,149	L ▲2% ▲13%	○	エコドライブ等の徹底及びエコカーへの順次入替により、数値目標を達成しました。
5	廃棄物排出量の削減	基準年度 目標 実績	15.3 15.0 15.5	t ▲2% +0%	×	紙の廃棄量が大部分を占めるため、改めて、両面印刷の励行やペーパーレス化の推進を検討します。
6	上水使用量の削減	基準年度 目標 実績	1,394 1,366 926	m ³ ▲2% ▲33%	○	節水の徹底により、数値目標を達成できました。
7	グリーン購入の推進	基準年度 目標 実績	11 13 13	品目 +2 +2	○	エコマーク商品掲載のカタログを全店に配置し、エコマーク商品の購入推進を行ないました。
8	エコ関連商品の販売	基準年度 目標 実績	2 2 2	商品 ±0 ±0	○	エコカーローン、エコリフォームローンを継続的に取り扱っております。

○目標達成 ×目標未達成

<環境活動計画および実施状況（平成29年度）>

環境目標	目標達成手段	取組結果	評価と次年度の取組内容
電気使用量の削減	①新しい機器への入替による省電力化	○	事務機器の更新による消費電力の削減に加え、電気量削減への意識が定着し、数値目標を達成できました。次年度も継続して節電に努めます。
	②未使用機器の主電源をOFFにする。	○	
	③クールビズ・ウォームビズの推進（冷房時室温26～28℃、暖房時室温20℃の徹底）	○	
	④室内照明の50%消灯（天候に合わせ調整）	○	
	⑤空調、照明器具の自主点検、定期清掃の実施	○	
	⑥常時使用しないエリアの消灯（会議室・食堂・廊下・トイレ等）	○	
ガス使用量の削減	①クールビズ・ウォームビズの推進（冷房時室温26～28℃、暖房時室温20℃の徹底）	△	改めて室温管理の徹底を図るほか、基準の見直し等も検討します。
	②空調設備フィルターの定期清掃、点検	○	
	③ロスナイ（全熱交換機）の有効利用	○	
ガソリン使用量の削減	①アイドリングストップ、エコドライブ（急発進、急加速、急停止の抑制）の励行	○	エコドライブの徹底を行うとともに、今後も引き続きエコカーへの入替に努めます。
	②自主点検、整備の実施	○	
	③営業車のエコカーへの順次入替	○	
廃棄物排出量の削減	①コピー用紙の削減（両面コピーの励行、印刷ミスの削減）	△	当金庫は紙の廃棄量が多いため、コピー用紙の削減や、更なるペーパーレス化を検討します。
	②分別ゴミの徹底（柏崎市のごみ分別の遵守）	○	
	③ペーパーレス化に向けた取組み	△	
上水使用量の削減	①節水の呼びかけ	○	節水の徹底により、数値目標を達成できました。次年度も継続して節水に努めます。
	②漏水の確認、点検	○	
グリーン購入の推進	①事務用品の環境対応品購入	○	エコマーク商品掲載のカタログを全店に配置し、エコマーク商品の購入推進を行いました。
エコ関連商品の開発・販売	①エコカーローン、エコリフォームローンの継続的な取扱い	○	エコカーローン、エコリフォームローンを継続的に取り扱っております。また、証書・景品等にもエコ商品を採用しております。
	②エコ証書、エコ封筒の検討	○	
	③エコ景品の採用検討	○	

○できた △あまりできなかった ×できなかった

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法規制等の名称	該当する要求事項	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	<p>【一般廃棄物委託の基準】</p> <p>◆一般廃棄物の運搬・処分を他人に委託する場合は、市の許可業者（又は環境省令で定める者）に委託する。</p>	○
フロン排出抑制法	<p>◆第一種特定製品の管理者の判断基準(平成26年告示第13号)に基づき、エアコン・冷凍冷蔵機器は3か月毎の簡易点検(定格出力が7.5kw以上は3年に1回、50kw以上は毎年1回の定期点検)を行い結果を記録する。</p> <p>◆フロン製品を廃棄する者が、専門の回収業者に引き渡すときは委託確認書を交付する。</p> <p>◆上記のフロン回収専門業者にフロン製品を引渡したときは引き取り証明書の交付を受け3年間保存する。</p>	○
自動車リサイクル法	<p>◆自動車の所有者は、長期間使用に努める。</p> <p>再資源化等の実施に配慮して製造された自動車を選択する。</p> <p>自動車の修理にあたって再資源化等を促進するよう努める。</p> <p>◆使用済自動車は、引き取り業者に引き渡す。</p> <p>◆最初の自動車登録を受けるとき再資源化等預託金として資金管理法人に対し預託する。</p>	○
家電リサイクル法	<p>◆事業者及び消費者の責務（長期間使用により家電廃棄物の排出抑制を図り、再商品化するものに適切に引き渡し、料金を支払う。）</p>	○
消防法	<p>◆防火管理者の設置</p> <p>◆消火器具の設置及び維持（床から1.5mに設置、「消火器」の表示）</p>	○

＜代表者による全体の評価と見直し記録＞

柏崎信用金庫

活動期間		作成者(環境事務局)
平成29年4月～平成30年3月		総務部
見直し 関連情報	項目	確認、コメント
	1 環境目標及び達成状況	■:8項目中2項目で目標値を達成できなかった
	2 環境活動計画及び取組み実施状況	■:21項目中3項目で取組みが不十分であった
	3 環境関連法要求一覧及び遵守状況	■:違反はない
	4 問題点の是正及び予防処置の状況	■:ガス使用量の増加は、気温の高低によるエアコン使用量の増加が主要因であり、改めて室温管理の徹底を図るほか、目標値の見直し等も検討する ■:廃棄物増加の主要因は、重要書類廃棄の量が前年より多かったことであり、これは年度によって増減が大きいことから、通常時の廃棄量を減らすために、コピー用紙の削減等を図るほか、目標値の見直し等も検討する
	5 取引先、業界その他の外部動向	■:信用金庫業界では「信用金庫の環境問題への取組み調査」を実施しており、積極的に協力している
	6 苦情の報告	■:なし
	7 内部監査の結果	■:フロン排出規制法に基づく、業務用エアコンの点検記録未作成の指摘があった
	8 前回の指示事項	■:空調の点検・清掃およびペーパーレス化に向けた取り組みを徹底のこと
	9 その他	■:なし

代表者による 全体評価・ 見直し指示	見直し項目	必要性の有無	「有」の場合の指示事項等
	1 環境方針	有 (無)	変更の必要性はない
	2 環境目標・計画	有 (無)	変更の必要性はない
	3 環境活動計画・取組み項目	(有) 無	ガス使用量に関しては、顧客利便性も考慮し、目標値の見直し等も含め検討のこと 廃棄物削減に向け、紙の使用量を減らすほか、目標値の見直し等も含め検討のこと
	4 環境に関する組織	有 (無)	変更の必要性はない
	5 システム関連	有 (無)	変更の必要性はない
	6 その他	有 (無)	変更の必要性はない
全体 コメント	一部未達項目はあるものの、全体的にはEA21活動は組織内に定着している。 今年度は、2項目で目標が達成出来なかったが、省エネや廃棄物削減に加え、経費削減等にもつながることから、未達要因を分析し、削減できるように指導していきたい。		

柏崎信用金庫の環境への取組みについて

【地域および社会貢献のための取組み】

1. 親子アニメ映画鑑賞会の開催
2. 小学生お仕事体験塾に参加
3. 1日本支店長を開催
4. 柏崎しんきんカップ学童野球大会を開催
5. 柏崎市消防団協力事業所に認定
6. 柏崎マラソン企業ボランティアに参加
7. 新潟産業大学の学生に講義を実施
8. 「にいがた子育て応援企業」の認定を取得
9. 第19回信用金庫社会貢献賞会長賞を受賞
10. 当金庫職員が小中学生に授業を実施
11. しんきんカップミニバスケットボール新人大会を実施
12. 献血を実施



【金融商品を通じた取組み】

1. 「カーライフプラン・エコ」の販売
ハイブリッド車等、環境に配慮した車購入資金にご利用いただけます。
2. 「リフォームプラン・エコ」の販売
エコ関連設備の購入・設置及びリフォーム資金にご利用いただけます。



【信用金庫としての環境負荷への取組み】

1. エコキャップ活動
ペットボトルキャップの回収箱を全店に設置し、エコキャップ推進協会を通じ、CO₂の削減と医療支援や障がい者支援、子供たちへの環境教育等、社会貢献活動に充てられています。
(平成30年7月現在、累計1,024,515個の収集を行いました。)
2. ノーマイカーウィークへの参加
マイカー利用を控え、バス・電車・自転車・徒歩での通勤などを推奨する
「柏崎市ノーマイカーウィーク」に年2回参加し、CO₂の削減に努めております。
3. 店周清掃
ボランティア活動の一環として、地域の皆様に日ごろの感謝の意味を込めて、「店周清掃」を行いました。
4. 緑のカーテン
節電対策として、つる性植物による「緑のカーテン」を南支店に設置し、地球温暖化防止に取り組みました。
5. クールビズ・ウォームビズの実施
毎年6月～9月までクールビズ、11月～3月までウォームビズを実施し、室内温度の調節により、CO₂の削減に努めております。
6. 「エコアクション21」の導入
環境への取組みを効果的、効率的に行うため、環境省策定のマネジメントシステム「エコアクション21」を導入し、平成24年12月に認証・登録を取得しました。

